

サルビヤ

もはや極暑も通りこして朝夕はずつと凌ぎよくなりました。土いじりするにも汗まみれにならなくてすむやうになりました。

本月はなか／＼多忙な時期なのであります。即ちこれまでなほざりがちにしております。夏草の後始末、ついで秋蒔物の播種、秋植球根類の植込等種々あります。

しかし是等につきましては以前にあらまし申し上げて居りますからこの度は略すことに致しまして今回は前月末頃から咲き初めて居りますサルビヤに就て少し申し上げます。

このサルビヤの原産地はブラジルであります。

大岩金

この属は五百種もありますが最も普通に観賞用として栽培されて居りますのはサ・スプレнденスといふ種類であります。それで元來は永年草であります。我が國では多くは一年草として扱つて居ります。

草丈は八〇糎——一〇〇糎で莖はやゝ木質化し葉は卵形で先端が尖り鋸齒を有して居ります。花は大形で莖の先端に總状花序をしてついで居ります。萼も花瓣も眞赤でありまして花は朝開けば夕方には花瓣は落ちるのでありますが赤い萼のみは残つて居りますので一見長く開花してゐる感があります。

一、播種

三月下旬乃至四月上旬の頃に播種するのでありますその方法は種子の大きいさもさほど小さい方でもありませんから極普通の撒播でよいのであります。が是は霜には比較的弱い方でありますから發芽後大霜などの降ることがありますと折角の二葉も一夜にして枯れてしまふことがありますからこの點に注意して時期は多少おくれ加減に場所は鉢又は箱蒔にして容易に霜除又は持運びの出来るやうにした方がよいのであります。

二、移植

他の草花よりも回数を多くして苗を丈夫に育て又數回の摘心によつて枝打を多く致します時は鉢植としても花壇植としましても下枝が上らないで見ばえのよいものになります。即ち二葉に續いて本葉が二三枚も出ましたならば先づ第一回の移植を致しますかくて本葉が五六枚も出ましたならば

その二三枚を残して先端を切り去ります。かくて充分の施肥(肥油粕の腐汁等)を致しましてどんくと莖葉の繁茂と根の伸長とをはかります。このやうに致しまして上には葉腋から出ます芽が伸びて本葉四五枚にもなりましたならば二三枚を残しては摘み取つて又その葉腋から新たに芽の出るやうにし、下には充分に根が張つて鉢に一杯になつては來る大鉢に移植するといふやうにして數回はを繰返せば終には一株に二三十本からの枝がこんもりと出まして是が夏から晩秋の候にかけて眞赤にもえ出ました眺めはなか／＼美事であります。

三、用土

軟かくてあまり粘らないものの方がよいやうであります。そしてなるべく肥料分に富んだものの方がよいのであります。

四、肥料

一年草としては比較的生育期間が長い方であり、ますから基肥として堆肥の如きを入れ尙時には液肥を追肥としてやらなければなりません。その種類は油粕の外下肥、鶏糞の腐汁等いづれでも結構でありまして回数は一週一度位の割合にすればよいのであります。

五、その他の管理

サルピヤは元來日光には充分浴する事を好むものであります。があまり乾きすぎます場所に植えたり鉢も水をさらしますと花付きがわるく又草勢もずつと衰えて參りますからこの點に注意せねばなりません。

六、採種

開花期間が長い丈に種子も一度にまとめてとることは困難でありましてその適期をみて採種しなければなりません。又他の多くの草花は自然に落下した種子によりましてその發芽に適當な時期に

なりますとあちらこちらに點々と芽を出すものであります。が霜に弱いサルピヤは冬の間に枯死するのであります。うが落ちた種子では到底發芽は見られないのであります。かかる理で採種は必ずしておかなければならないのであります。次に採種に困難な點は前申しました通り花瓣は落ちても萼が残り一見花あるが如くにみえますのでいつ種子が完熟したか容易に見分け難いのであります。それに又完熟した種子は長くとゞまる事なく容易に地に落ちるのであります。それ故既に萼が多少枯れかゝつた感じのするやうな色になりました中をのぞき見ます時はその多くはもはや種子はなくなつて居るのであります。それ故未だ色は赤いうちから暇ある毎に一つ／＼中を調べましてやゝ黒色を帯びました種子が出来て居りましたならば軽くその萼の本を振つてみます。かく致しますれば種子は手中に落ちます。普通には一つの花から三個位

の種子が得られます。かゝる種子は初秋から晩秋にかけて絶えず收穫出来るのであります。がなか／＼手敷のかゝる仕事であります。手間を省くには略花が終りました頃になりましたならば新聞紙上又はバケツの中に枝先を刈つてこの中に振り落せばよいのであります。

七、挿木法

播種に依る外挿木法に依つて繁殖させる事も出来るのであります。即ち秋に新梢を砂床に挿し之をフリューム又は温室内に入れておきますれば翌春には早く開花をみる事が出来ます。

又八重咲で種子の出来難いものなどはこの方法に依らなければ子孫は絶えるわけでありませう。

又場所の都合に依りましては秋に挿木せず、秋に開花しましたものの地上部二三節を残して切り去りその残株の鉢を前同様フリューム又は温室中にて充分保温し翌春になつてそれから出た新芽を挿

木する方法もあるのであります。

岸邊福雄氏の再渡歐

童話のおぢさん、岸邊福雄先生が九月十五日東京發、シベリア經由で、二度目の歐米行脚に出かけられました。氏の經營される女學校の教子達の、恩師を海外旅行にぶくりたいといふるはしい計畫、十年前よりの積立金で、「教育勅語御下賜記念事業として」の教育視察、それに東京市から兒童教育視察の囑託をもうけられて、來春御歸朝ださうですが、御専門の童話家としてのおみやげが今から期待されます。